

第10回 インフラメンテナンス大賞

インフラメンテナンスで日本の国土を守る

インフラメンテナンス大賞とは

日本国内のインフラのメンテナンスに係る優れた取組や技術開発を表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的に実施するものです。

【写真提供】 山崎エリナ(やまさき・えりな)

写真家 兵庫県神戸市出身。パリを拠点に3年間の写真活動に専念する。50ヵ国以上を旅して撮影を続け、エッセイを執筆、写真集多数出版。2018～2025年は「山崎エリナ写真展 インフラメンテナンス」を東京ビッグサイトなど全国各地で開催。橋梁、トンネル、道路のメンテナンス現場を撮影した写真による広報活動は、第3回インフラメンテナンス大賞 優秀賞(国土交通省)を受賞。2022年度にはインフラメンテナンス特別賞を受賞(土木学会)。土木関連写真集に「インフラメンテナンス～日本列島365日、道路はこうして守られている」、『Civil Engineers 土木の肖像』、『トンネル誕生』、『鉄に生きる サステナブルメタル 電気炉鉄鋼の世界』、『アクアライン 知られざる姿』、『ローカルゼネコンの素顔 ～眼差しの先に～』、『東京下水道 設備創造』『土木～100年後の日本を支える「人の力」』などがある。

現場の技術者たちへのエールを込めて作詞作曲・歌を担当した曲『この空の下で』(ヤマサキエリナ)が世界で音楽配信中。

令和8年10月8日(木) 12時締切

エントリーはWEBから

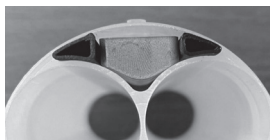
インフラメンテナンス大賞



第9回「インフラメンテナンス大賞」大臣賞 受賞案件



内閣総理大臣賞
豪雪地の交通インフラ維持を図る
除雪支援の取組
株式会社 堀口組



総務大臣賞
浅層埋設管路防護技術
NTT株式会社



第9回の大賞、特別賞、優秀賞の
各案件はこちらからご覧いただけます。



情報通信技術の優れた活用に関する
総務大臣賞
立会受付Webシステムによる官民共同受付の推進
NTTインフラネット株式会社



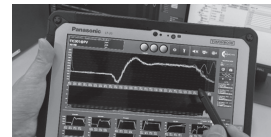
農林水産大臣賞
三次元データを用いた地すべりトンネル排水工
における亀裂・変形等の効率的記録手法
国土防災技術株式会社



農林水産大臣賞
“GIS”と“ノーコードアプリ”を活用したデータ
蓄積による土地改良施設の効率的な保全管理
熊本平野南部土地改良区、熊本県土地改良
良事業団体連合会、熊本県農林水産部



農林水産大臣賞
FRGカバー工法（埋設型枠）による漁港
等水産基盤施設の補修・防食技術
株式会社タイター



経済産業大臣賞
AI技術×操業データによる
CBMの実現
アズビル株式会社



国土交通大臣賞
人が立ち入れない空間のインフラ点検を
可能にする小型ドローン技術の実装と普及
株式会社Liberaware



国土交通大臣賞
太田切川の常水路工（魚道）施工の
スタンダード化
飯島いものつくろう会



国土交通大臣賞
さびを味方にインフラを守る維持管理コスト
低減型新機能性塗料タンジオーラシステム
日本ペイント株式会社



環境大臣賞
埋め立て処分場の負荷軽減に向けた
AI選別ロボットの導入プロジェクト
加山興業株式会社



防衛大臣賞
RAKUYU-Z工法
（不断水替工法）
京環メンテナンス株式会社

募集要項

趣旨

国民生活やあらゆる社会経済活動は、道路・鉄道・港湾・空港・電力・ガス等の産業基盤や上下水道・公園・学校等の生活基盤、治山治水といった国土保全のための基盤、その他の国土、都市や農山漁村を形成するインフラによって支えられています。

これらのインフラの老朽化が今後も進行していく中で、インフラによってもたらされる我が国の活力や生活、環境、景観、安全・安心の機能を維持していくためには、インフラのメンテナンスに国全体で取り組む必要があります。

この表彰は、我が国のインフラが直面する老朽化やその対策に必要となる担い手不足の問題に対応して、インフラメンテナンスの現場における工夫やメンテナンスを支える活動、インフラメンテナンスの効果的・効率的な実施を実現した研究・技術開発の優れた成果を収めた取組の関係者を表彰するものです。

表彰の対象

以下の①～③の3つの部門において、日本国内のインフラメンテナンスに係る優れた効果・実績を挙げた取組や技術開発を行った者（個人及び施設管理者・企業・団体等の活動グループ）

① メンテナンス実施現場における工夫部門

施設管理者が管理するインフラについて、当該施設管理者自ら又は委任、委託等を受けた企業、団体等が行うメンテナンス活動における工夫（②に該当するものを除く）

② メンテナンスを支える活動部門

①の取組以外で、市民活動や人材育成等のインフラ機能の維持に貢献するために行う活動（③に該当するものを除く）

③ 技術開発部門

調査・計測手法、計画・設計手法、施工技術、施工システム、維持管理手法（点検・診断技術、モニタリング技術を含む）、材料・製品、機械、維持管理データ管理におけるインフラメンテナンスを効果的・効率的に改善する研究・技術開発

表彰の種類

- 内閣総理大臣賞（全部門から1件）
- 総務大臣賞、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、防衛大臣賞（原則各省別の部門ごとに1件、計24件）
- 情報通信技術の優れた活用に関する総務大臣賞（1件）
- 特別賞（8件以内）
- 優秀賞（特別賞と合わせて最大32件程度）

応募期間

令和8年8月21日（金）から10月8日（木）12時まで

※応募期間中に応募者情報の登録及び応募書類の提出を完了してください。

受賞者の発表

受賞者の発表は令和8年度冬頃を予定しています。受賞者及び受賞内容については、連絡担当者あてに通知します。

※受賞者に対して表彰式を行います。表彰式等の詳細については追って公表します。

応募方法

以下のホームページからWEBフォームにアクセスいただき、応募方法の詳細をご確認のうえ、応募者情報の登録及び応募書類の提出をお願いします。

※応募はWEBフォームのみの受付となります。



ホームページ:

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/03activity/03_award.html

お問合せ先

国土交通省 総合政策局公共事業企画調整課

インフラメンテナンス大賞担当

電話番号:03-5253-8271 メールアドレス:hqt-taisho@gxb.mlit.go.jp